

# 静岡いきもの 岡市 散策マップ

## 麻機遊水地コース



## 麻機遊水地 第3工区

### 侵略する外来生物

外来生物とは、もともといなかった国や地域に、人間の活動によって持ち込まれた生きものを指します。  
人為的に改変してきた遊水地では、外来生物が多く見られます。水中にはオオクチバスやウシガエル。甲羅干しているのはミシシippアカミミガメ。地面にはセイタカアワダチソウやオオキンケイギクが広がり、水面をオオフサモやホテイアオイが埋め尽くしています。元のような自然をみんなで取り戻す努力が必要です。



### セイタカアワダチソウの群落



GPS情報:  
N 35 01 03.3 E 138 23 55.6

外来生物のうち、生態系、農林水産業、人の生命・身体への被害が大きいものについて、外来生物法で「特定外来生物」に指定し、その飼育・栽培、輸入、販売、野外に放つことなどを禁止しています。

### 野鳥の宝庫!

ここでは一年を通して約100種類の野鳥が見られます。サギの仲間やカルガモ、カワセミは年中見られます。夏にはオオヨシキリが、そして冬には北から渡ってきたカモの仲間が水面ににぎわいます。  
ここは、静岡市街地で最大の野鳥の楽園となっています。双眼鏡を使って、静かにそっと観察しましょう。



### 観察小屋



GPS情報:  
N 35 00 55.9 E 138 24 05.6

こども病院  
バス停

水田

湿地帯

ヤナギ自生地

草地

スタート

観察小屋

流通大橋

流通センター

↓ 流通センター通り

湿地の植物  
保護試験地

湿地帯

マルバヤナギ



湿地にはコゴメヤナギ、マルバヤナギなどが自生し増えてきています。中でもこのマルバヤナギは大きく育っています。

GPS情報: N 35 00 59.2 E 138 24 10.6

### 湿地の植物保護試験地



GPS情報: N 35 01 14.1 E 138 24 08.7

### 湿地植物の保護

このような湿地では、ヨシやガマ、ハスなどが勢力を増し、ほとんどがこれらの植物で覆われてしまいます。そのため、ミズアオイやタコノアシといった貴重な湿地植物が見られなくなってしまう。  
ここでは、これらの湿地植物を守るため、ボランティア団体が保護、管理活動をしています。初夏から秋にかけて色々な湿地植物を観察することができます。



オモダカ



サクラタデ

保護試験地

ヒメガマ



ミスアオイ



タコノアシ

### トンボの王国

ここでは初夏から秋にかけて、小さなイトトンボの仲間から、アカトンボやヤンマの仲間まで、たくさんのトンボが見られます。図鑑で調べながら、よく観察してください。



ウチワヤンマ

アオモンイトトンボ

ナツアカネ

### 麻機遊水地

この付近は「沼のぼあさん」と呼ばれる伝説があり、一面ヨシ原や田んぼでした。昭和49年の七夕豪雨で巴川が氾濫し洪水になったことから、遊水地として整備され、今も工事が続けられています。風景は随分と変わりましたが、水の面積が増え、野鳥や昆虫も増えているようです。



ヤナギの自生地

点在する池



広く開けたヨシ原



# 静岡市 いきもの 散歩マップ

## 麻機遊水地コース 麻機遊水地第3工区

### しょくぶつ

#### ● ミズアオイ



沼や田んぼに見られる植物で、7～10月に青紫色の花を咲かせます。近年、農薬などの影響で数を減らしています。

#### ● ハス



7～8月に大きな桃色の花を咲かせる水辺の植物です。根はレンコンの名で知られ、食用とされています。

#### ● オモダカ



田んぼや溜め池に見られる植物で、8～10月に白色の花を咲かせます。矢じりのような形の葉が特徴です。

#### ● ヒガンバナ



秋のお彼岸の頃に赤い花を咲かせます。花が枯れた後に出る細長い葉は、冬の間だけ見られます。全体に毒があります。

#### ● ヒメガマ



水辺に群生する植物で、葉がガマよりやや細くなります。夏にソーセージのような形をした、茶色の花をつけます。

#### ● タコノアシ



水辺に育つ植物で、小さな花がたくさん並ぶ様子が「吸盤のついたタコの足」に似ていることから、この名があります。

#### ● サクラタデ



陽当たりの良い湿地や水辺に生える植物で、8～10月に薄い桃色の小さな花を咲かせます。

#### ● オギ



ススキに似ていますが、オギは茎が1本ずつ生えます。ススキは乾いたところに、オギは湿ったところに生えます。

### むし

#### ● アキアカネ



はねを広げると6cmくらいで、ナツアカネと違って、頭や胸はあまり赤くなりません。成虫は6～12月に見られます。

#### ● ショウジョウトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボで、成虫は6～12月に見られます。オスは赤色、メスは黄褐色の体をしています。

#### ● コシアキトンボ



はねを広げると6cmくらいのトンボです。黒色のお腹の一部分は白くすけて見えます。成虫は5～10月に見られます。

#### ● ベニシジミ



タデ科のスイバやギシギシのある堤防や畑のまわりで、春のはじめから見られることができます。

#### ● ウチワヤンマ



はねを広げると10cmくらいで、おしりの近くにうちわ型の突起があります。成虫は5～9月に見られます。

#### ● チョウトンボ



はねを広げると7cmくらいで、青く幅広いはねでチョウのようにヒラヒラ飛びまわります。成虫は5～9月に見られます。

#### ● キタキチョウ



主に林のまわりに住み、成虫で冬を越すため、ほぼ1年中見られることができます。幼虫はマメ科の植物を食べます。

#### ● オオスズメバチ



日本最大のスズメバチで、日本のハチでは最も強い毒を持ちます。大きな木の根元や土の中などに巣を作ります。

### アクセス情報



#### 【バスでのアクセス】

1. しずてつバス静岡駅前北口バスターミナルより「こども病院線(静岡神経医療センター行)」に乗車
2. 「流通センター入口」にて下車(静岡駅より約30分)

※日曜・祝日は運行していないため、大浜麻機線(谷津口バス停下車)をご利用ください。

野鳥観察小屋付近に若干の駐車スペースがありますが、遊水地にはできるだけ公共の交通機関をご利用下さい

### 緊急連絡先

・静岡県救急医療情報センター TEL&FAX:0800-222-1199 (休日・夜間当番医を教えてください。24時間対応)

・消防 119番

・警察 110番

### 注意事項

- ・ハイキングでの安全は自己責任でお願いします。季節に合わせた服装・水や食料の準備、緊急時の連絡先の確認など、準備をしっかりしておきましょう。
- ・里山には、ハチやヘビやヒルなどの危険な動物もくらしています。出会ってしまったら、刺激しないよう注意し、ゆっくりその場をはなれてください。
- ・コースの中には私有地が含まれる場合があります。果樹・花・山菜などを無断で取らないでください。
- ・動物も植物も、たくさんあるからといって、むやみにとるのはやめましょう。また、他の土地から動植物を持ち込まないようにしてください。

制作：NPO法人 静岡県自然史博物館ネットワーク

発行者：静岡市環境創造課

〒420-8602 静岡市葵区追手町5番1号

TEL:054-221-1319 FAX:054-221-1492

制作年：平成25年3月 第2版：令和2年3月

### とり・どうぶつ

#### ● オオヨシキリ



ヨシの間で「ギョギョシ、ギョギョシ」とかたまたましく鳴きます。春に日本へやってくる渡り鳥です。

#### ● ミサゴ



カラスくらいの大きさのタカです。海岸や河川などの上空を飛びまわり、水に飛び込んで魚をつかまえます。

#### ● ニホンノウサギ



全身は茶色ですが、お腹だけが白い色をしています。主に夜に活動して、葉や芽や枝などを食べます。

#### ● カヤネズミ



日本最小のネズミです。低地の湿地や田んぼに住み、ススキなどの葉で球形の巣をつくって子育てをします。

#### ● コアジサシ



ハトより小さく、ほっそりとした鳥です。海や川、湖沼の上を飛びまわり、空中から水に飛び込んで魚をつかまえます。

#### ● ノビタキ



スズメより小さな鳥で、静岡では春と秋だけに見られます。飛んでいる昆虫などを空中でつかまえて食べます。

#### ● アオダイショウ



全長1～2mになる本州最大のヘビで、全身褐色をおびたオリーブ色です。主に小型の哺乳類、小鳥を食べます。

#### ● クサガメ



甲長10～25cmの沼などにすむカメです。頭の側面に黄色の模様があり、甲羅には3本のタデシがあります。

#### ● モス



スズメより大きな鳥です。「キリキリ」「キィキィ」「キチキチ」など高い声でさまざまに鳴きます。人家の庭先でも見られます。

#### ● カイツブリ



ハトより小さな水鳥です。全国の池や湖にすんでいて、水中に潜って魚をとって食べます。

#### ● ツチガエル



茶色の小さなカエルで、背中にたくさんのイボがあります。田んぼや池、河川敷などにすみ、「ギョウギョウ」と鳴きます。

#### ● アズマヒキガエル



体長9～15cmになる大型のカエルで、頭の近くから毒を出します。繁殖期にオスは小さく「クッククック」と鳴きます。

#### ● カワラヒワ



スズメくらいの大きさで、飛ぶと翼に黄色の模様が見られる小鳥です。雑木林などで見られます。

#### ● カワセミ



静岡市の鳥です。スズメより少し大きく、あざやかな水色をしています。水中に飛び込んで、魚をとって食べます。

#### ● オイカワ



全長10cmほどの川魚です。繁殖期の5～8月には、オスは水色と桃色の鮮やかな体色になり、ひれが赤色をおびます。

#### ● メダカ



全長4cmくらいの淡水魚で、近年数が減ってきています。外来種のカダヤシとは、しりぞの大きさを区別できます。

### 外来生物

#### 特：特定外来生物

#### ● ミシシippアカミミガメ



幼体はミドリガメと呼ばれ、ペットとしてよく飼われます。捨てられたカメが増えています。

#### ● ウシガエル 特



体長20cmにもなる外来種のカエルで、池や沼、湿地にすんでいます。「フオーブオー」と牛に似た声で鳴きます。

#### ● カムルチー



雷魚とも呼ばれ、全長は1m近くになることもあります。空気呼吸ができるので、水質の悪い環境にも耐えられます。

#### ● オオクチバス 特



ブラックバスとも呼ばれ、釣りのための放流で全国に広まった外来魚です。池や沼にいる他の魚を食べています。

#### ● タイリクバラタナゴ



日本だけにすむニッポンバラタナゴとの間に雑種をつくり、その雑種が分布を広げていることが問題とされています。

#### ● セイタカアワダチソウ



河原や空き地に群生する外来植物で、茎の高さは2.5mほどになります。10～11月に黄色い花を咲かせます。

#### ● オオキンケイギク 特



北アメリカ原産の外来種で、現在は特定外来生物に指定されています。5～7月に黄色い花を咲かせます。

#### ● オオフサモ 特



緑白色の葉を持つ水生植物で、原産地は南米のアマゾン川です。その繁殖力から特定外来生物に指定されています。

### メモ

## しずおか みんなの しぜんたんけんてちょう

しぜんたんけんてちょう

検索



静岡市が運営するウェブサイト「しぜんたんけんてちょう」では、皆さんが発見した動物・植物・昆虫の発見情報を1つの地図に落とし込んでいき、共有しています。ハイキングで見つけた生き物は、写真を撮ってぜひ発見情報を投稿ください!!(ウェブサイト内に投稿ページがありますので、そちらから情報をご提供ください)